

鹿児島日英協会 ニュースレター  
**The Japan British Society of  
 Kagoshima Newsletter**

第 15 号

No.15 September 2021

会長あいさつ ～ニュースレター第15号発行に寄せて～

鹿児島日英協会会長 島津公保

当協会会員の皆様には、コロナパンデミックが続く中、如何お過ごしでしょうか。

今年に入ってもコロナウイルス感染者数は世界的規模で拡大し、第四波、第五波と大きな波が襲い、夏には、無観客の東京オリンピック、パラリンピックが開催されました。

こうしたことから私どもが今年度、計画していた活動は、大きな制約を受け、第5回エッセイコンテストと第3回フォトコンテスト以外の活動は、ほとんど実施することが出来ませんでした。このような環境にも拘わらず、ご協力頂いた皆様に深く感謝申し上げます。

今から9年前、ロンドンにおいて開催されたオリンピック・パラリンピックをご記憶の方も多いと思います。ロンドン大会は、スポーツ施設の近代化やまちづくり等の有形資産と共に、スポーツ振興や地域文化振興等の無形資産を含めて多くのオリンピックレガシーをつくり、先進都市におけるオリンピックのこれからの在り方を示した好例であると言われました。この年、ロンドンは世界の中で都市総合力が第一位となり、現在もその地位を保っています。これまでの商業主義から、地域の発展に貢献する大会として戦略的に取り組む形へ大きく変化したとされます。

東京オリンピック・パラリンピックは、このロンドンのレガシーづくりを参考に取り組んできたと言われています。

今回の東京大会は、コロナ禍により1年延期となった異例の大会であり、更にコロナ禍が広がる中での開催となりました。このため、当初もくろんでいたオリンピックレガシーづくりが達成されたのかは不明ですが、パンデミック下での世界的イベントとして、参加選手の大活躍と共に、安全に管理された大会運営は高く評価されるのではないかと思います。

英国メディアは、東京オリンピック・パラリンピックを「記憶に残る大会」であったと評し、エリザベス女王も、大会の成功に貢献した全ての関係者を慰労するとメッセージを発表しました。

この大会の正しい評価は、これから5年後、10年後に振り返って行われると思いますが、あの東京大会があったから今があるといわれることになって欲しいと思っています。

昨年11月、植樹式を行った、英国から里帰りした東郷平八郎ゆかりの銀杏は、両国の関係者の熱い思いに答えて、元気に育っています。私どもも、この銀杏に託された両国の絆を大切にしながら、日英の交流に資する活動を続けて参ります。ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

目次

- ① 令和2年度 第3回鹿児島日英協会理事会のご報告 . . . P.2
- ② 令和2年度の事業報告 . . . P.2
- ③ 令和3年度のイベント予定 . . . P.2
- ④ 東郷銀杏について 報告とお願い . . . P.3
- ⑤ イギリスひとくちメモ . . . P.4

## ① 令和2年度 第2回 鹿児島日英協会理事会のご報告

日時：令和3年3月20日（祝土）  
会場：ホテルタイセイアネックス  
（鹿児島県鹿児島市中央町4-3）

上記日時・会場で令和2年度第2回鹿児島日英協会理事会が開催され、当協会の事業内容確認とプロジェクト等における中間報告・決算中間報告をいたしました。また、島津興業よりアレックス・ブラッドショー様を講師にお招きして、「コロナ禍における英国の現状とインバウンドへの取り組み」という演題でご講演いただきました。



## ② 令和2年度下半期（令和3年3月以降）事業報告

（コロナウイルス拡大防止のため、中止・延期となった事業があります。）

1. 青年部主催 第3回 Pub Quiz 3月企画 再延期
2. 協会主催 鹿児島日英協会第2回理事会 2021年3月20日（祝）
3. 協会主催 第5回エッセイコンテスト 7月末締切 9月末審査 実施済み。



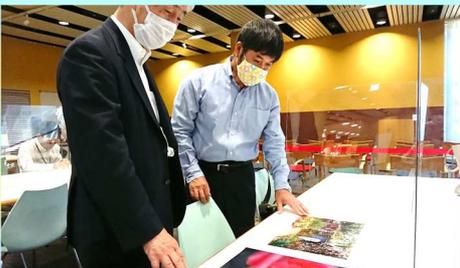
←2021年9月29日審査会の様子

島津会長（写真右）

古木副会長（写真左奥）

酒瀬川理事（写真左手前）

4. 青年部主催 第3回フォトコンテスト 8月末締切 10月初め審査 実施済み。



←2021年10月6日審査会の様子

島津会長（写真手前）

写真家中小路靖先生（写真奥）

5. 協会後援 マルメンカルテット鑑賞会 6月30日 延期。来年7月予定
6. 協会主催 イギリス視察旅行（仮） 8月企画 延期。実施日程未定
7. 鹿児島日英協会HP リニューアル 2021年9月実施 10月運用開始

## ③ 令和3年度のイベント予定（コロナウイルス感染状況により、中止・延期となる場合があります。）

1. 協会主催 鹿児島日英協会第30回総会 2021年10月30日（土）  
第5回エッセイコンテスト表彰式  
第3回フォトコンテスト表彰式
2. 協会主催 第1回理事会 2021年10月30日（土）
3. 協会主催 講演会 2021年10月30日（土）

4. 青年部主催	第3回 Pub Quiz	実施時期未定
5. 協会主催	英国関係者講演	実施時期未定
6. 協会主催	第6回エッセイコンテスト	2022年7月末締切
7. 協会後援	マルメンカルテット鑑賞会	2022年7月予定
8. 協会主催	大使館関係者講演会	実施時期未定
9. 協会主催	イギリス視察旅行（仮）	実施時期未定
10. 協会主催	映画観賞会等	実施時期未定

#### ④ 東郷銀杏 協力金は随時受け付けております。

・東郷平八郎ゆかりの銀杏の木 帰郷プロジェクトとは（2019年12月29日 産経新聞掲載記事より）

英国ウェールズで明治初期に建造された日本海軍の軍艦、初代「比叡」（コルベット艦）への謝意として明治政府が英国に寄贈し、大木に育った銀杏（いちろう）の苗木約15株が24日、日本に“帰郷”し、栽培育成したウェールズ国立植物公園から広島市植物公園に届けられた。

英ペンブロークで1877年行われた比叡の進水式で、上野景範（かげのり）駐英特命全権公使らが銀杏を英国側に寄贈。留学生だった東郷平八郎が艦装（ぎそう）員として滞在した英海軍官舎の庭に植えた。東郷が帰国し、日本海海戦でロシアを破る大活躍をしたため、地元では「東郷ゆかりの銀杏」と語り継がれてきた。

地元郷土史家、デービッド・ジェームズさん（81）は、「銀杏を日英友好のシンボルとして帰郷させたい」とプロジェクトを始め、依頼を受けたウェールズ国立植物園は、無償で「挿し木」の技術で苗木約15株を育てた。

旧軍港都市の広島県呉市の新原芳明市長のコメントを同市文化スポーツ部の神垣進部長が代読し、「今年から来年は呉鎮守府が開庁して130周年。植樹にふさわしい年の帰還を祝いたい。日英友好の歴史の証人として、長く引き継いでいきたい」と述べた。

苗木は日本郵船関連会社の郵船ロジスティクスが無償で空輸し、同植物公園が日本の土壌に順応、養生させた後、来年4月末から5月、呉市、京都府舞鶴市、長崎県佐世保市、神奈川県横須賀市のほか東郷元帥の出身地、鹿児島市や東郷神社（東京都渋谷区）などに移送される。

#### ・鹿児島における植樹式

2020年11月22日（日）、鹿児島市の多賀山公園にて当時の森博幸市長の出席のもと、鹿児島日英協会主催で植樹式が行われました。



植樹式当日の苗木



現在の付近の様子



2021年9月末現在の苗木の様子。専門家より葉焼けは心配いらぬとのこと



● みなさまからのご厚意による協力金は、今後東郷銀杏の維持管理費用及び周年行事等への費用として使わせていただきます。手順は以下の通りです。

#### 1. 指定口座へ寄付金のお振込み 【お振込み先指定口座】

ゆうちょ銀行 01770-0-67480

鹿児島銀行 伊敷支店 普通 3007776 鹿児島日英協会事務局

南日本銀行 伊敷支店 普通 1092847 鹿児島日英協会事務局

#### 2. 鹿児島日英協会へ協力金ご送金の旨メールにてご連絡ください。

## ⑤ イギリスひとくちメモ

### 迷信あれこれ

(文責：鹿児島日英協会理事・志学館大学名誉教授 酒瀬川 純行)

前号では‘Touch wood!’というおまじないを取り上げたが、今回は私が留学や学生引率などで滞英中にその存在を知り、よくお世話になった四つの迷信 (superstitions)を紹介したい。

一つ目は、毎日何回も愛飲したティーにまつわるもの。やり方はこうだ。注いだティーにミルクを入れ、かき混ぜた後、ティーマグの真ん中にできた泡 (bubble) を、願い事をした後で、唇がマグの縁に触れないようにして飲むというもの。不思議といつも願いは叶った。

二つ目は「二月の佳人」(The Fair Maid of February) としても親しまれ、Galanthophile と呼ばれる愛好家も多いスノードロップに頼っての願掛け。真っ白で、可憐に項垂れる花を見つけたら、そっと近寄り、願い事をしてからポンと軽くその花弁を指で弾くもの。20年以上に渡って毎春同行した英語研修の女学生たちに手ほどきすると、ニコニコしながら皆競って花を探し、そっとしゃがんで神妙にお願いをした。後日‘叶った’との報告を幾度も受けた。



イギリスではどこでもよく見かけるスノードロップ 中央にあぶくの浮かぶティーマグ

三つ目は、日本に残した家族、特に妻に就寝中‘夢の中で会う’ために行ったもの。夜中に家の外に出、外壁に這った蔦 (ivy) の葉を一枚取り、持ち帰り枕の下に置く。さらに霊剣灼かにしたい時には金曜日の夜、庭に出て9枚の柊木 (holly) の葉を集め、三角 (折り) のハンカチに包み、枕の下に置き就寝した。こちらもご利益は結構なものであった。

四つめ目は、運勢を求めての‘試し事’であった。こちらは前回の記事に登場した農夫の John 氏に教えていただいたもので、葡萄や、桃、林檎などを食べる時に出てきた種粒を数え、将来 (元々は‘恋占い’で結婚相手の男性の‘職業’) を占うもの。1個だったら‘tinker’ (いかけ屋)、2個は‘tailor’ (仕立て屋)、続いて‘soldier’ (兵士)、『sailor’ (船乗り)、『rich man’ (金持ち)、『poor man’ (貧乏人)、『beggarman’ (乞食)、と続き、最後は8個の‘thief’ (泥棒) で終わる。私が食べていた葡萄からなんと5個も種が出てきて、皆に‘Yuki (私のニックネーム) はきっと金持ちになるよ。’と持ち上げられ、嬉しかったのを思い出す。子供の頃によくやるものだそうだが、私はその後も何度か試して楽しんだ。

このほかにも、よく知られたデイジーの花びらや千切れないように剥いたりんごの皮を使った恋占いなど、多くの迷信がいまだにイギリスには残る。いずれも科学的根拠の無い、まさに‘迷信’ではあるが、異郷の地で時に孤独、寂しさを感じた折りなど、お世話になり、少なからず希望や和みをいただいた。



留学中お世話になった Simmonds 家と庭、居間でのスナップ (ケンブリッジ)

★鹿児島日英協会 URL :

<http://jbsk.jp/>



★鹿児島日英協会青年部 Facebook :

Japan British Society of

Kagoshima Youth Division



【鹿児島日英協会所在地】

〒892-0871

鹿児島市吉野町9700-1 (株式会社島津興業内)

TEL : 099-247-7000 (代表)

FAX : 099-247-9539

Email : jbskagoshima@yahoo.co.jp